

# ～2016年3月期中間決算説明会資料～

---



2015年 11月 27日

**アイホン株式会社**

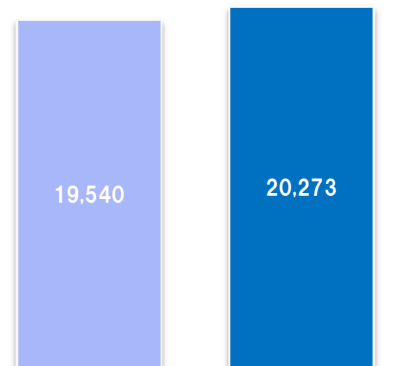
# 2016年3月期中間決算概要

## 連結決算実績

・売上高	：	20,273	百万円	(前年同期比103.8%)
・営業利益	：	1,275	百万円	(前年同期比110.9%)
・経常利益	：	1,557	百万円	(前年同期比140.4%)
・純利益	：	1,033	百万円	(前年同期比163.2%)

### 売上高

(百万円)

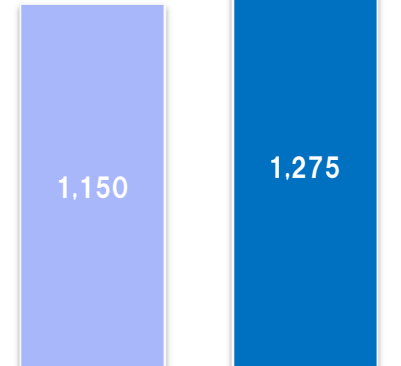


2015年3月期  
第2四半期

2016年3月期  
第2四半期

### 営業利益

(百万円)

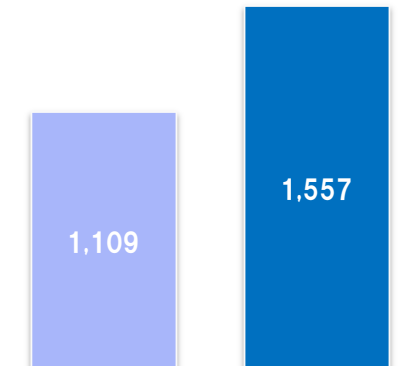


2015年3月期  
第2四半期

2016年3月期  
第2四半期

### 経常利益

(百万円)

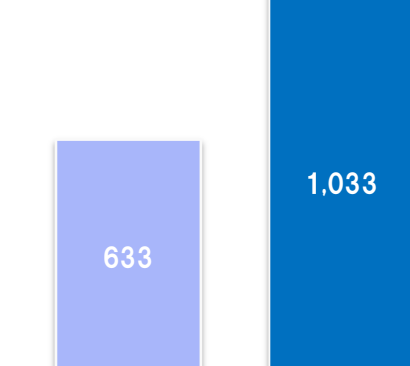


2015年3月期  
第2四半期

2016年3月期  
第2四半期

### 純利益

(百万円)



2015年3月期  
第2四半期

2016年3月期  
第2四半期

# 2016年3月期中間決算概要

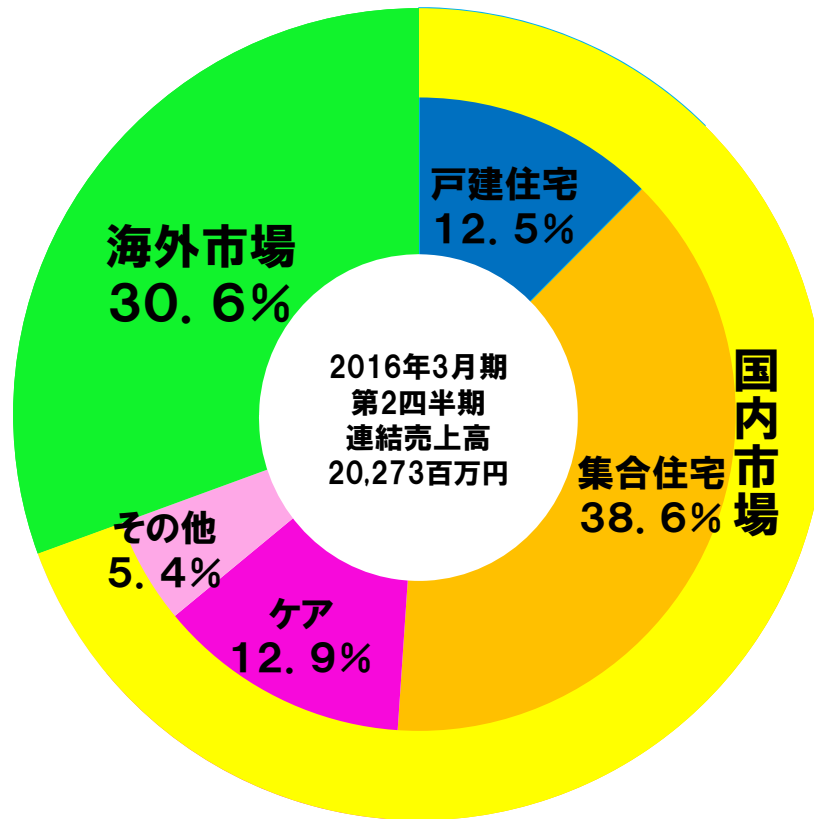
## 連結決算実績

第2四半期実績において売上高、純利益は過去最高

項目名	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減率	2016年3月期 第2四半期 (当初)	達成率
売上高	19,540	20,273	3.8%	20,500	98.9%
売上原価	11,044	11,406	3.3%	—	—
売上総利益	8,495	8,866	4.4%	—	—
販売費及び一般管理費	7,345	7,591	3.4%	—	—
営業利益	1,150	1,275	10.9%	1,200	106.3%
経常利益	1,109	1,557	40.4%	1,100	141.6%
税引前純利益	1,095	1,564	42.8%	—	—
純利益	633	1,033	63.2%	700	147.6%

# 2016年3月期中間決算概要

## 市場別売上高

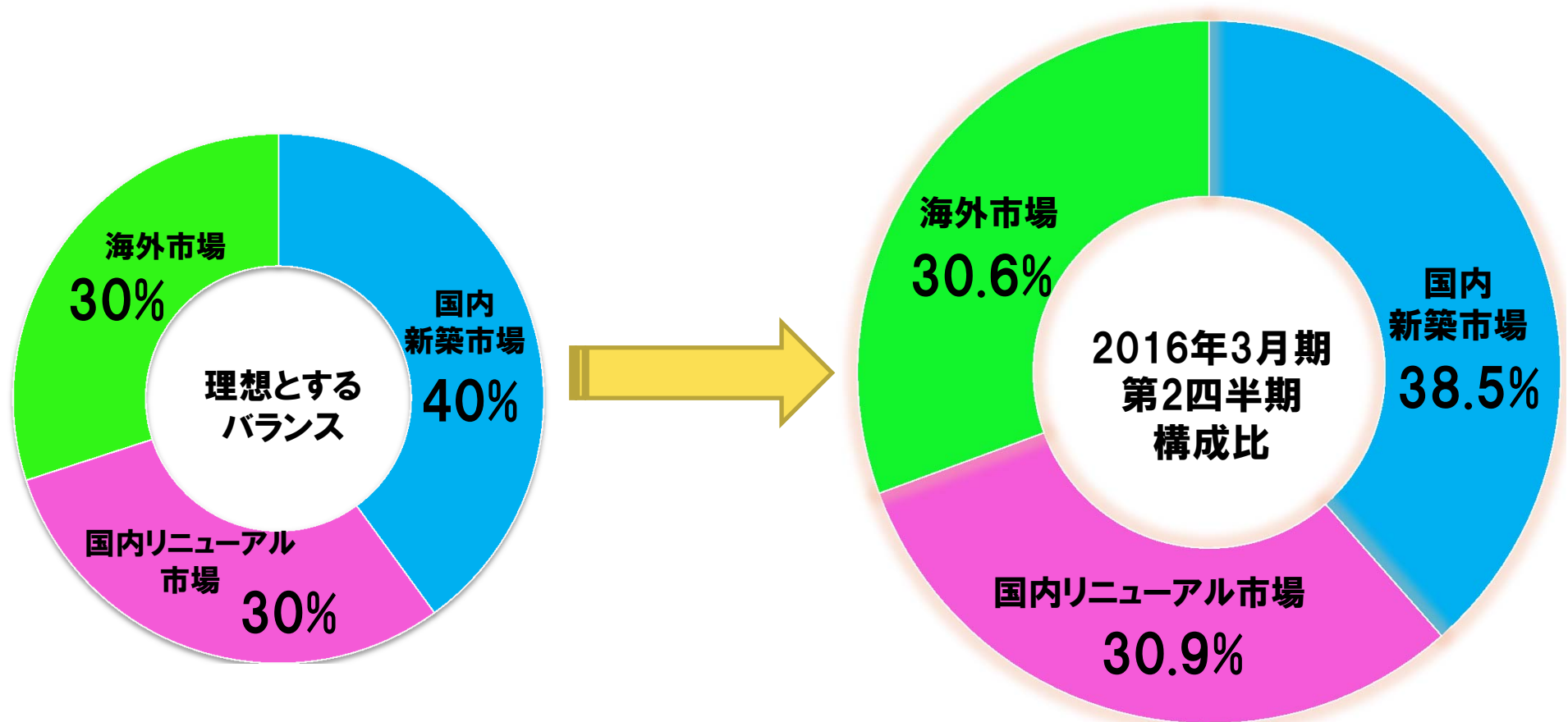


市場別		売上高(百万円)	増減率(%)
国内市場	戸建住宅	2,519	△7.3%
	集合住宅	7,834	1.1%
	ケア	2,622	△1.3%
	その他	1,096	△1.8%
海外市場		6,199	17.0%
合計		20,273	3.8%

国内: 1.6億円の減少(△ 1.2%)  
海外: 9.0億円の増加(+17.0%)  
合計: 7.3億円の増加(+ 3.8%)

# 2016年3月期中間決算概要

## バランス経営の推進(2016年3月期中間での実績)



## 2016年3月期中間 連結決算のポイント

### 【売上高】

- ◆ 住宅市場における集合リニューアル売上が増加。
- ◆ ケア市場におけるリニューアル売上が増加。
- ◆ 海外市場の売上増加(円貨)。

### 【利益】

- ◆ 営業利益の増加。
- ◆ 経常利益・純利益の増加。

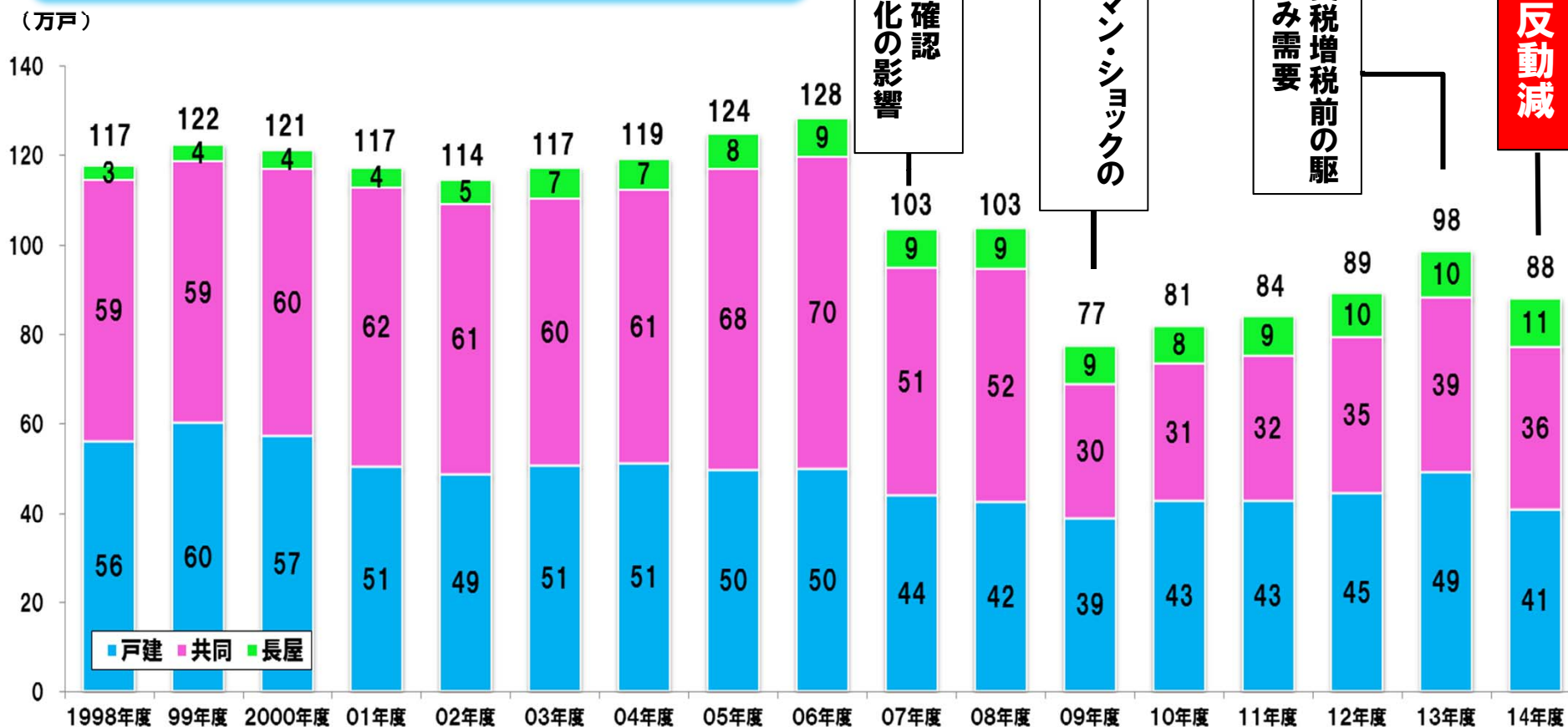
・中間決算において売上高、純利益については、過去最高を更新

# 2016年3月期中間決算のポイント

## 新設住宅着工戸数は低水準での推移

新設住宅着工戸数減少の影響から、新築住宅売上高は前年同期を下回る。

新築住宅市場で前年同期比6.1%減少



# 2016年3月期中間決算のポイント

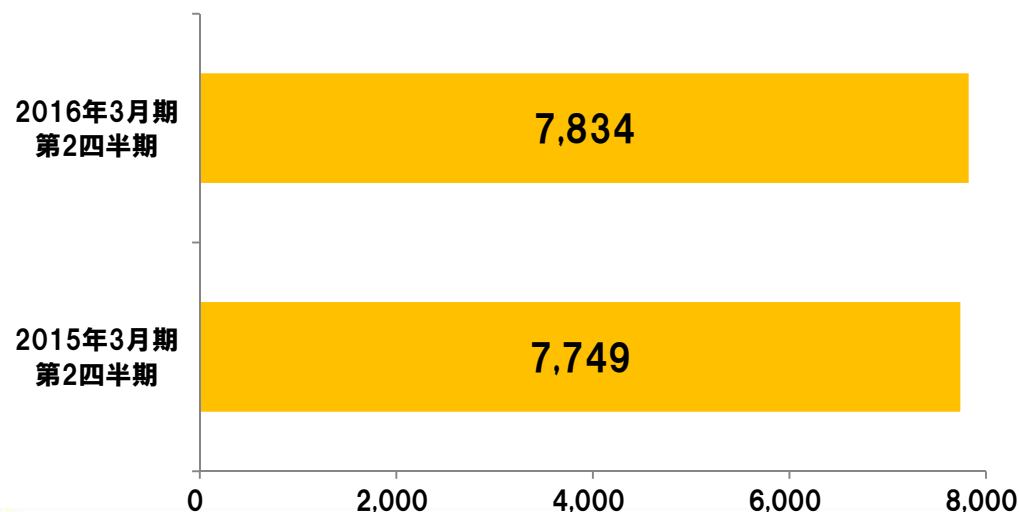
## 住宅市場における集合リニューアル市場売上増加

集合新築の売上が減少したものの、管理会社等への営業活動や見積物件の追跡活動を積極的に行ったことにより、新たに投入した商品の販売が好調に推移。

集合リニューアル市場で前年同期比6.8%増加

(百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減率
集合住宅市場	7,749	7,834	1.1%





# 2016年3月期中間決算のポイント

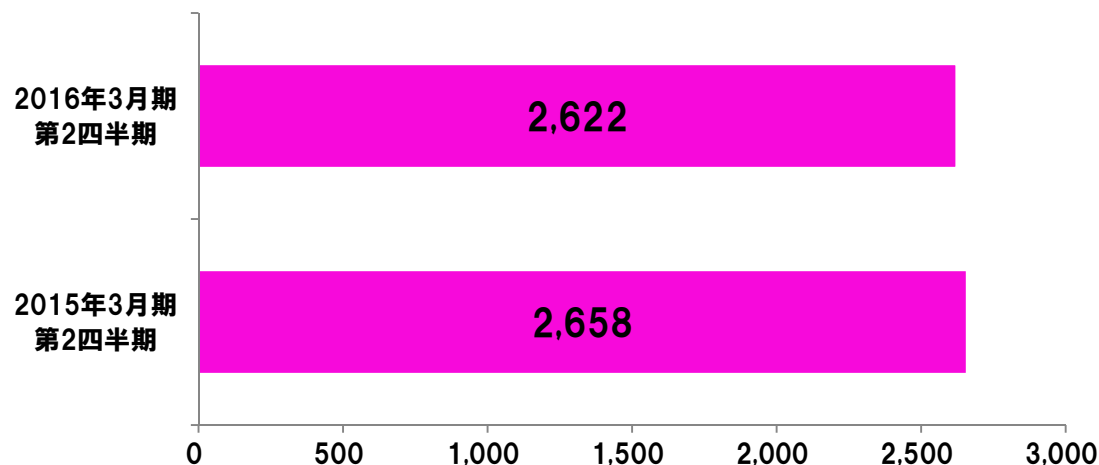
## 新型ナースコールシステム「Vi-nurse(ビーナース)」の導入効果！

- ・「介護基盤の緊急整備事業」終息の影響から、高齢者施設出件数が減少し、ケア新築売上は減少。
- ・新型ナースコールシステム「Vi-nurse(ビーナース)」を中心とした継続的な提案活動により病院におけるリニューアル売上は増加。
- ・修理対応終了物件への積極的な提案活動により、高齢者施設におけるリニューアル売上が増加。

ケアリニューアル市場で前年同期比26.1%増加

(百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減率
ケア市場	2,658	2,622	△1.3%



Vi-nurse  
ビーナース

# 2016年3月期中間決算のポイント

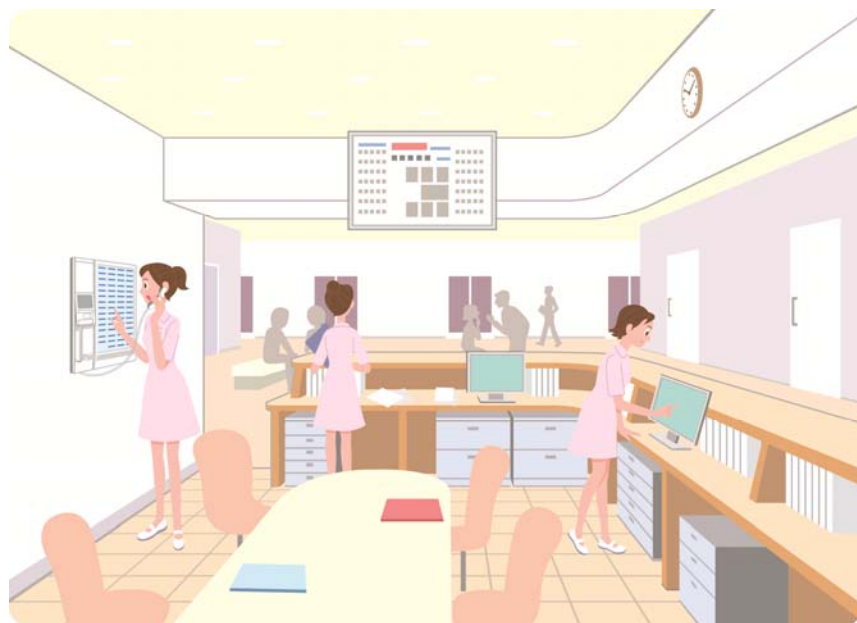
## 「Vi-nurse(ビーナース)」の納入事例



山梨大学医学部附属病院 様

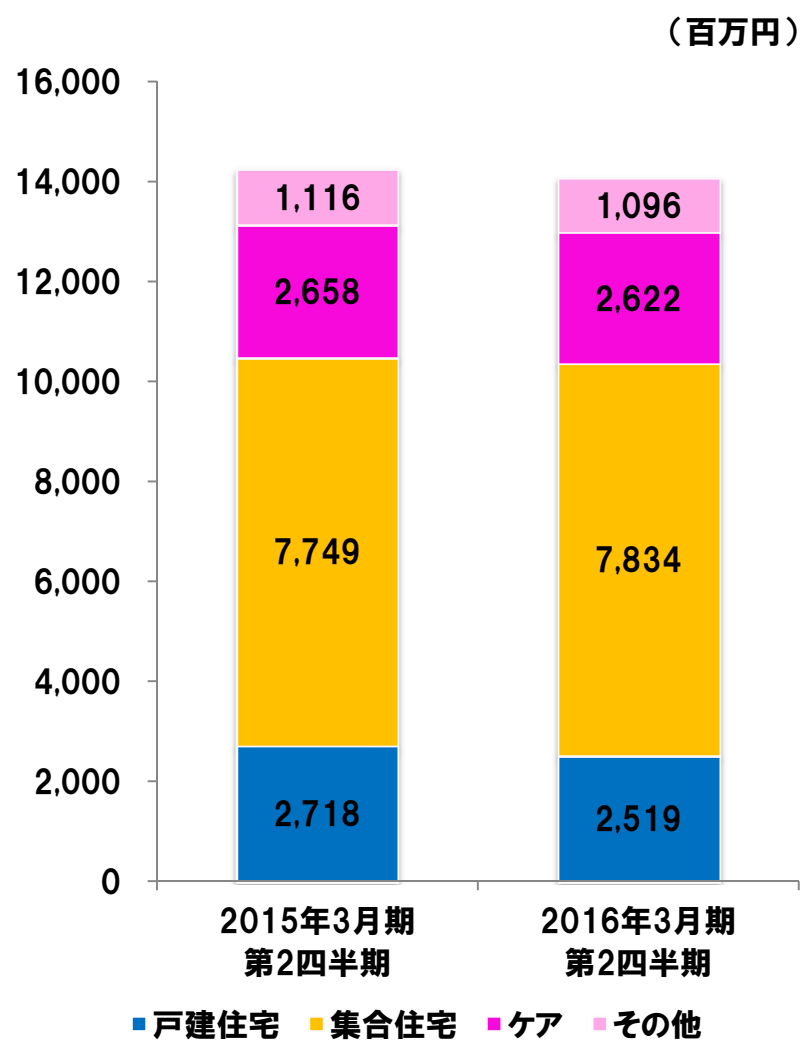


地方独立行政法人 堺市立病院機構  
堺市立総合医療センター 様



# 2016年3月期中間決算のポイント

## 国内市場別売上高



(百万円)

国内市場別	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減率 (%)
戸建住宅	2,718	2,519	△7.3%
集合住宅	7,749	7,834	1.1%
ケア	2,658	2,622	△1.3%
その他	1,116	1,096	△1.8%
<b>合計</b>	<b>14,243</b>	<b>14,073</b>	<b>△1.2%</b>

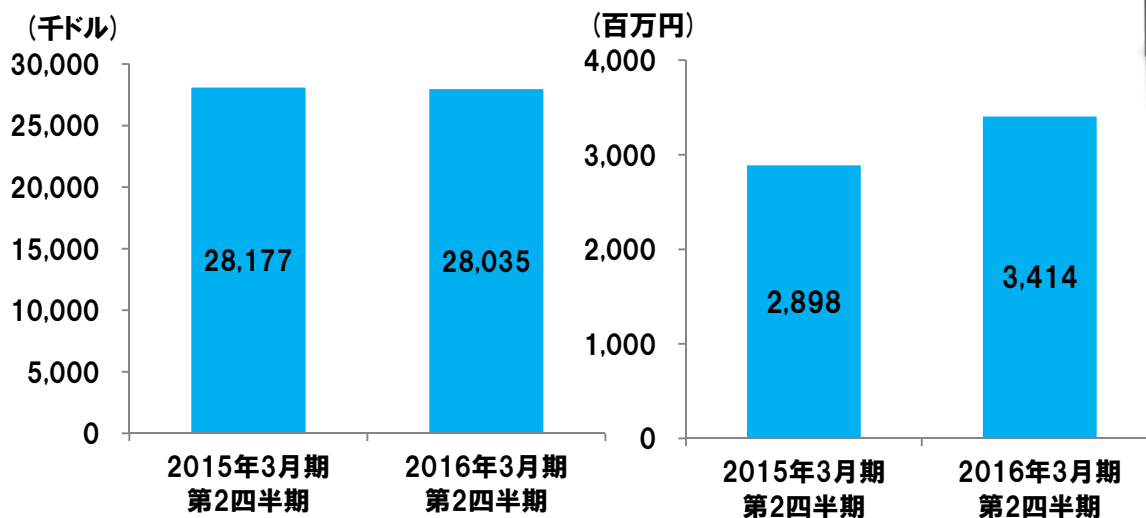
# 2016年3月期中間決算のポイント

## 海外市場(北米市場)

テレビドアホンの販売が厳しさを増す中、学校でのセキュリティニーズが継続するとともに、集合住宅システム向けの販売が順調に推移したことにより、円貨において売上が増加。

北米市場で前年同期比17.8%増加(円貨)

北米市場	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増加率
現地通貨	28,177千ドル	28,035千ドル	△0.5%
円貨	2,898百万円	3,414百万円	17.8%



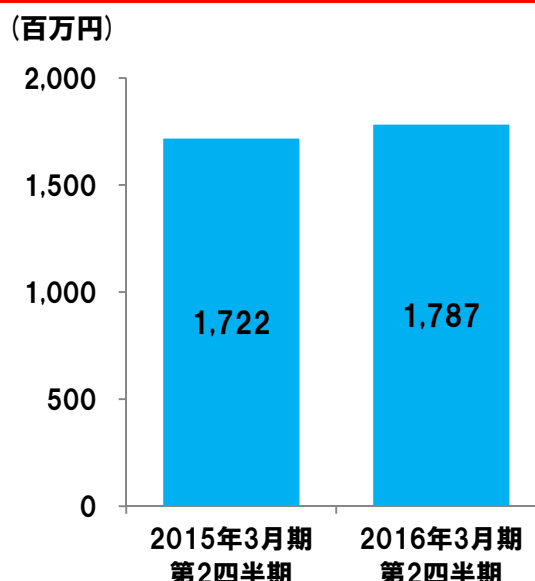
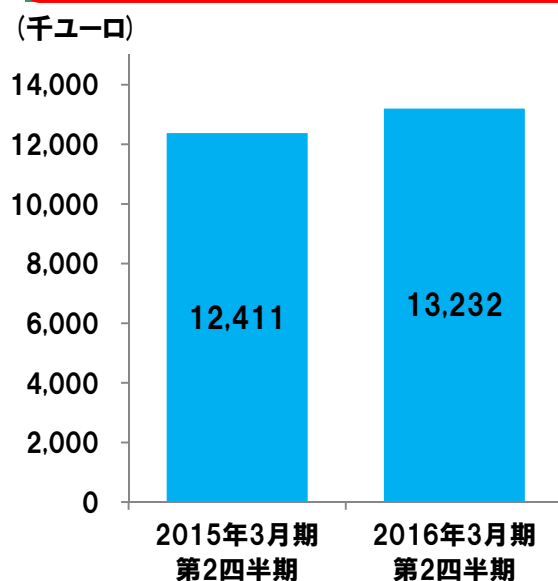
# 2016年3月期中間決算のポイント

## 海外市場(欧州市場)

長期化する経済の低迷の中、主要販売国であるフランスでのテレビドアホンの販売が好調に推移し売上増加。

欧州市場で前年同期比3.8%増加

欧州市場	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増加率
現地通貨	12,411千ユーロ	13,232千ユーロ	6.6%
円貨	1,722百万円	1,787百万円	3.8%





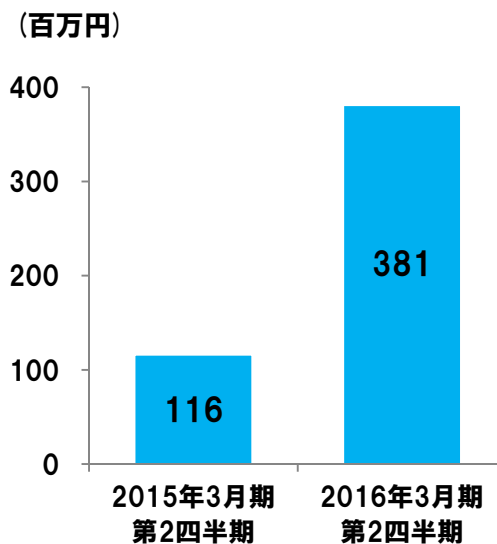
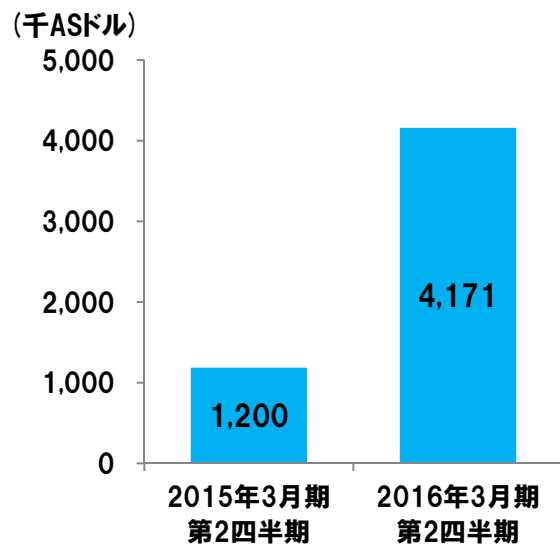
# 2016年3月期中間決算のポイント

## 海外市場(オセアニア市場)

テレビドアホンの販売が好調に推移するとともに、集合住宅向けシステムの大型物件の受注拡大により売上が増加。

オセアニア市場で前年同期比227.2%増加

オセアニア市場	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増加率
現地通貨	1,200千ASドル	4,171千ASドル	247.5%
円貨	116百万円	381百万円	227.2%

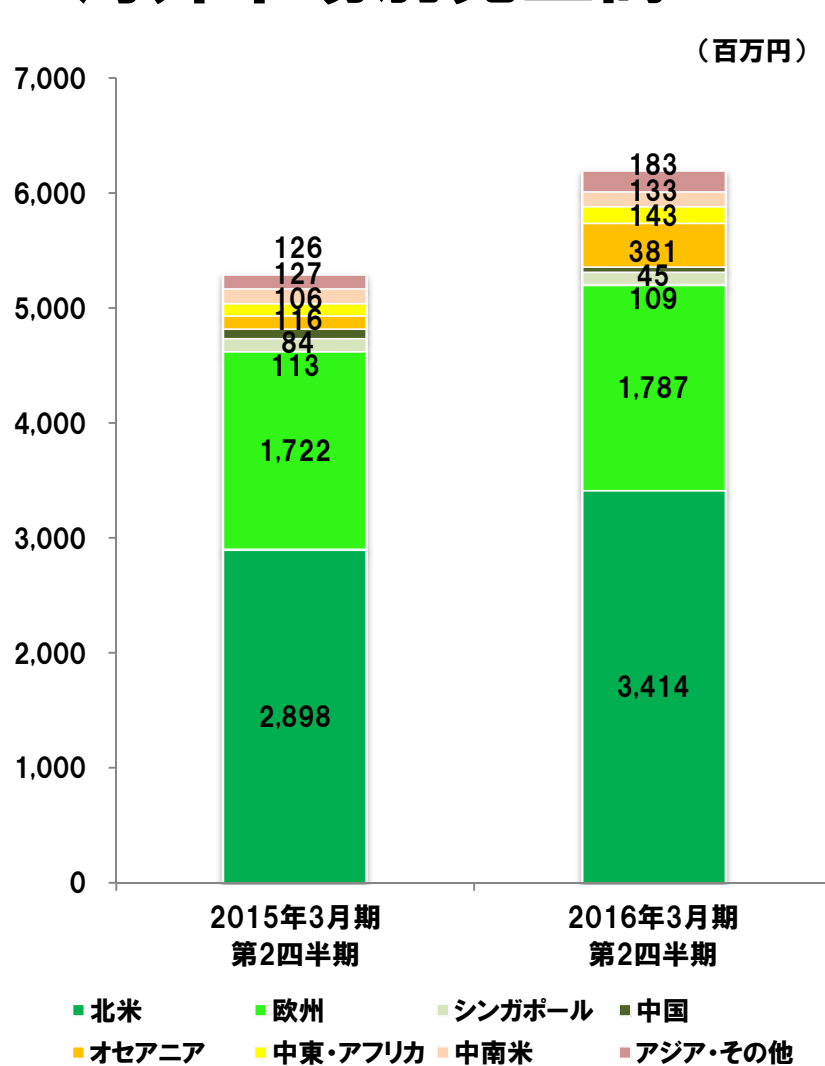


GT Series



# 2016年3月期中間決算のポイント

## 海外市場別売上高



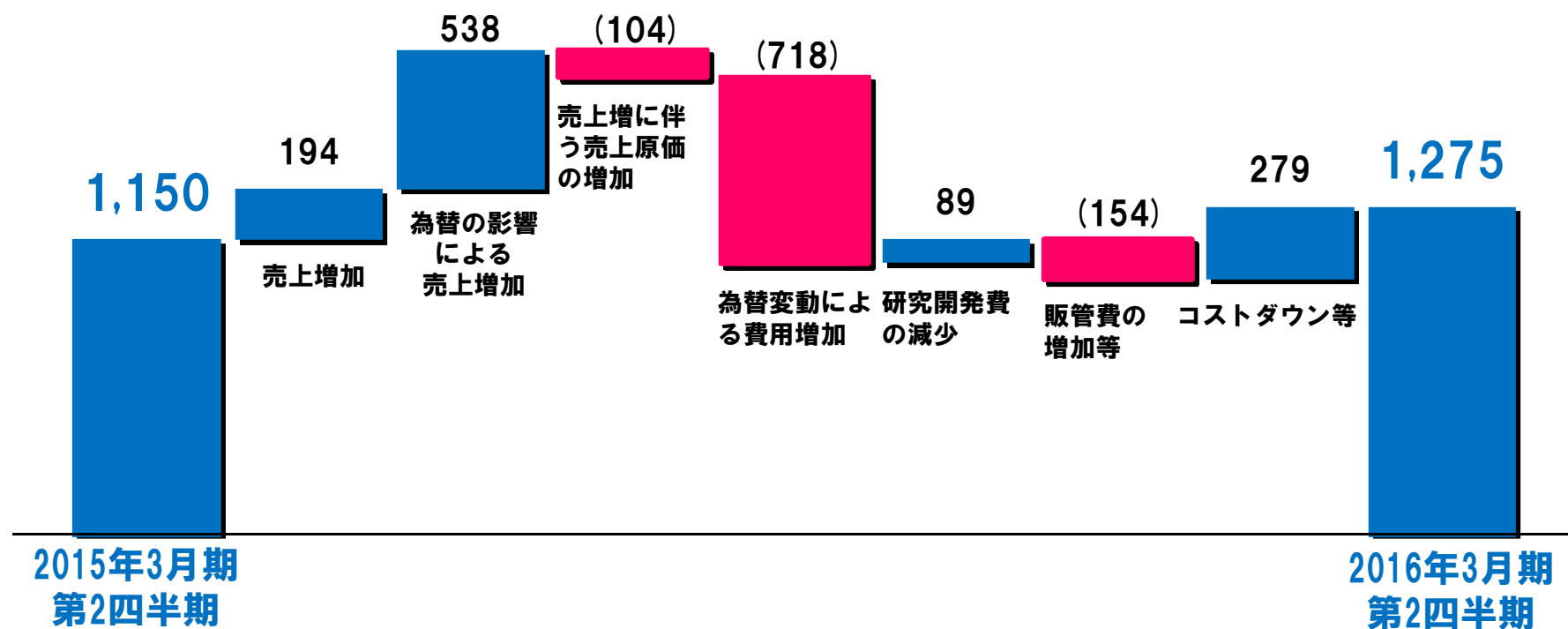
(百万円)

海外市場別	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減率 (%)
北米	2,898	3,414	17.8%
欧州	1,722	1,787	3.8%
シンガポール	113	109	△3.8%
中国	84	45	△45.8%
オセアニア	116	381	227.2%
中東・アフリカ	106	143	35.1%
中南米・その他	127	133	4.6%
アジア	126	183	44.6%
<b>合計</b>	<b>5,297</b>	<b>6,199</b>	<b>17.0%</b>

# 2016年3月期中間決算のポイント

## 営業利益について

(百万円)



### ポイント

- ・重点市場であるリニューアル市場及び海外市場の売上増加。
- ・新商品の市場投入効果やコストダウンにより海外市場の原価率が改善。



# 2016年3月期通期の見通し

## 2016年3月期業績予想

・売上高	：	43,400	百万円	(前期比104.4%)
・営業利益	：	3,100	百万円	(前期比104.4%)
・経常利益	：	3,200	百万円	(前期比106.2%)
・純利益	：	2,400	百万円	(前期比121.5%)

売上高

(百万円)

営業利益

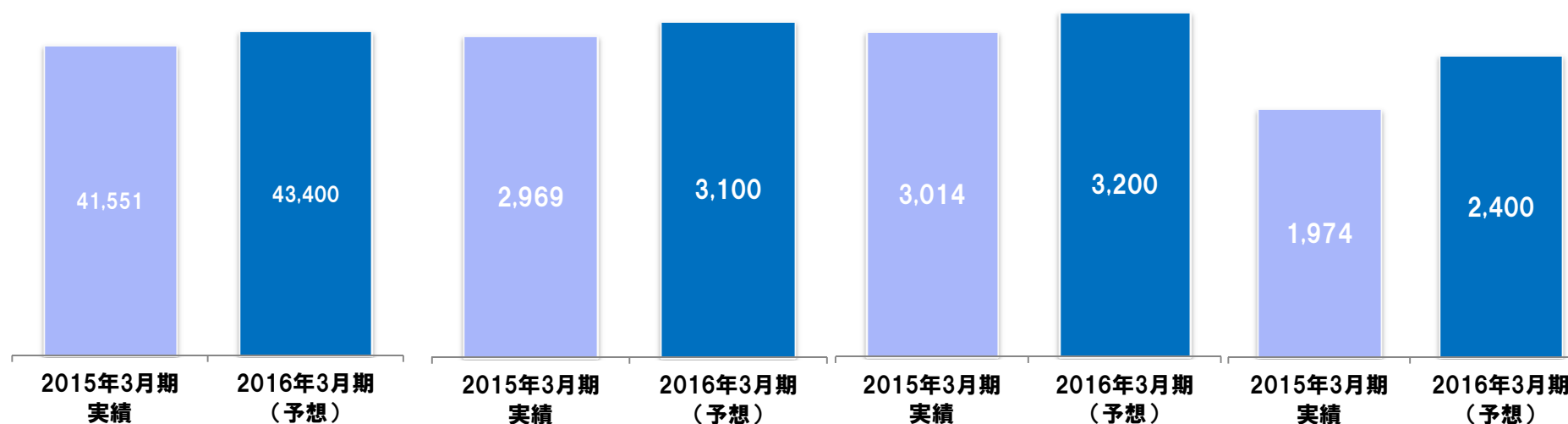
(百万円)

経常利益

(百万円)

純利益

(百万円)



## 2016年3月期通期の見通しのポイント

- ◆ **集合リニューアル市場の受注内定残は増加を図る！**  
市場で高い評価をいただいている集合住宅システム向けシステムを中心に更なる受注強化を図る。
- ◆ **新型ナースコールシステム「Vi-nurse」の更なる市場浸透を図る！**  
市場評価の高い「Vi-nurse」の更なる市場浸透を図るとともに、リニューアル促進に向けた提案活動を展開。
- ◆ **海外市場においては、現地に密着した営業活動を展開し、物件受注の拡大を図る！**  
市場ごとのニーズを捉えた商品展開を図るとともに、物件受注力を高め、売上の拡大を図る。



## ケア市場

### 新型ナースコールシステムの採用化活動を展開！

ナースコール業界で初めて幹線のIP化を実現し、院内の情報システムと柔軟に連携する新しいナースコールシステム「Vi-nurse(ビーナース)」の採用活動を引き続き積極的に進めていきます！

Vi-nurse  
ビーナース



# 2016年3月期通期の見通しのポイント

## 北米市場

対象物件を明確にした重点活動で売上増加を図ります！



## 欧州市場

発売以来、高い評価をいただいている戸建住宅向けテレビドアホン、集合住宅向けシステムの提案活動を継続していきます！



SECTEUR COLLECTIF



SECTEUR RESIDENTIEL





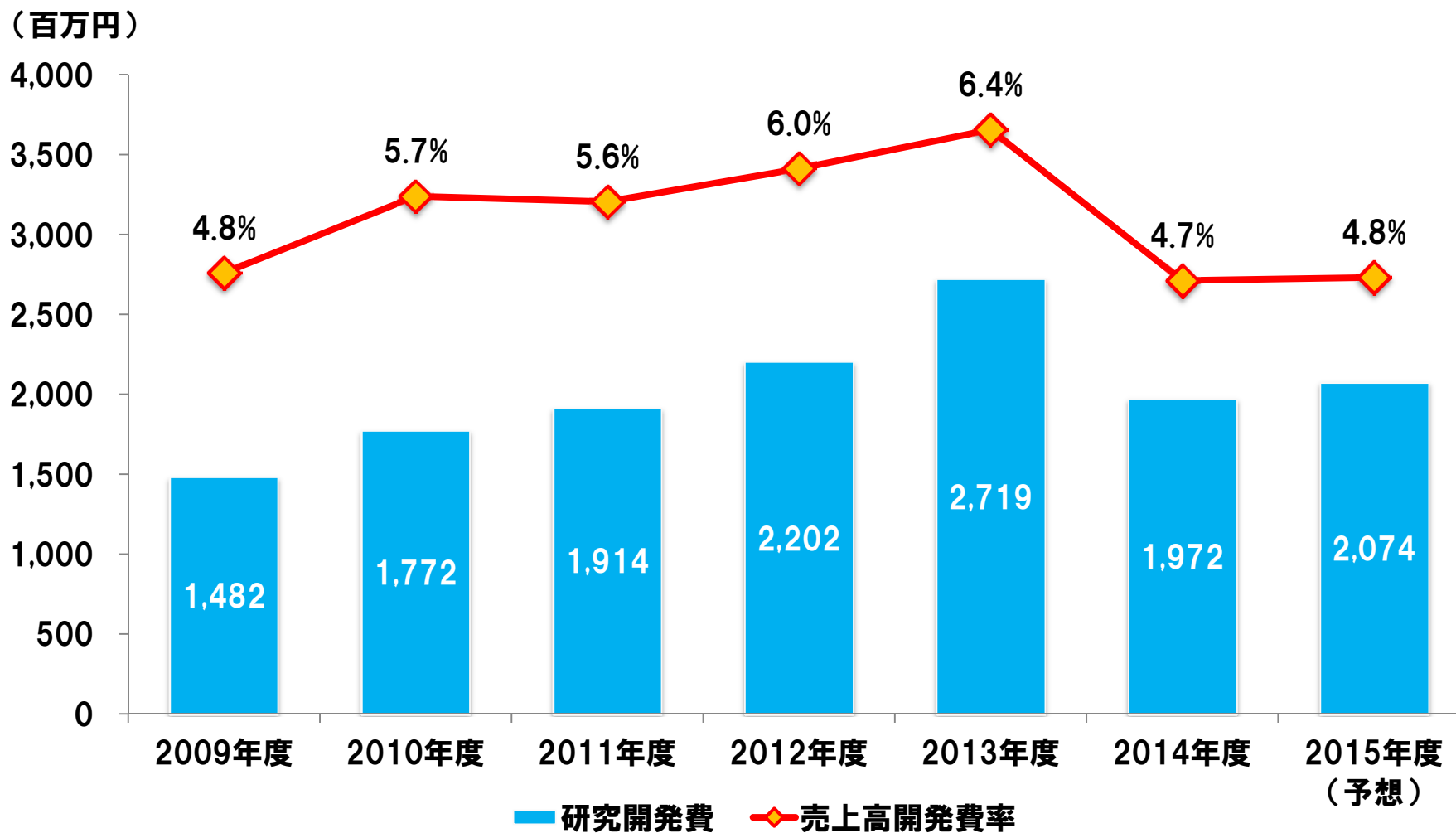
# 2016年3月期通期の見通しのポイント

## 海外市場拠点の拡充で売上拡大を図る。



# 研究開発の状況

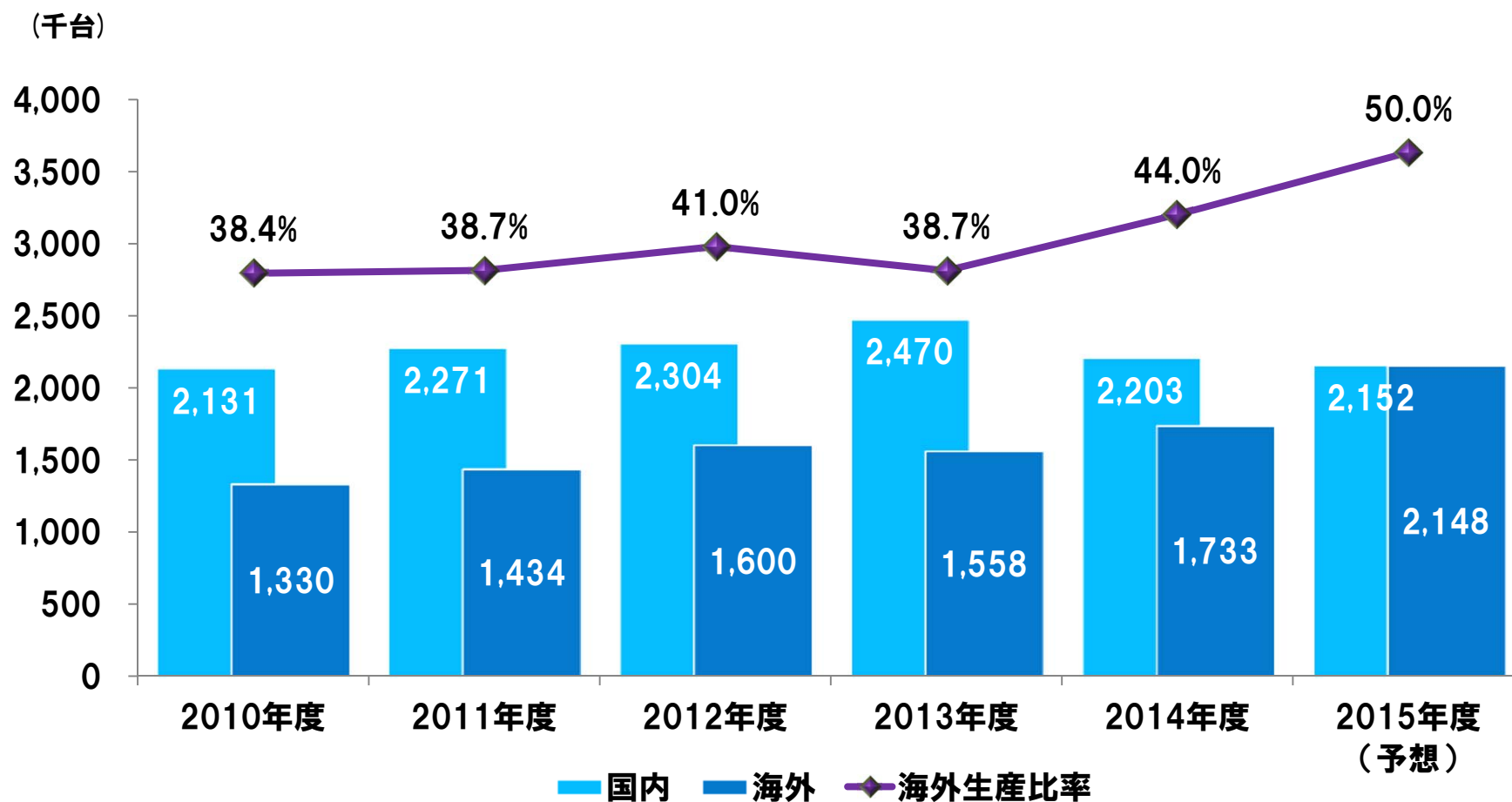
## 研究開発費の推移



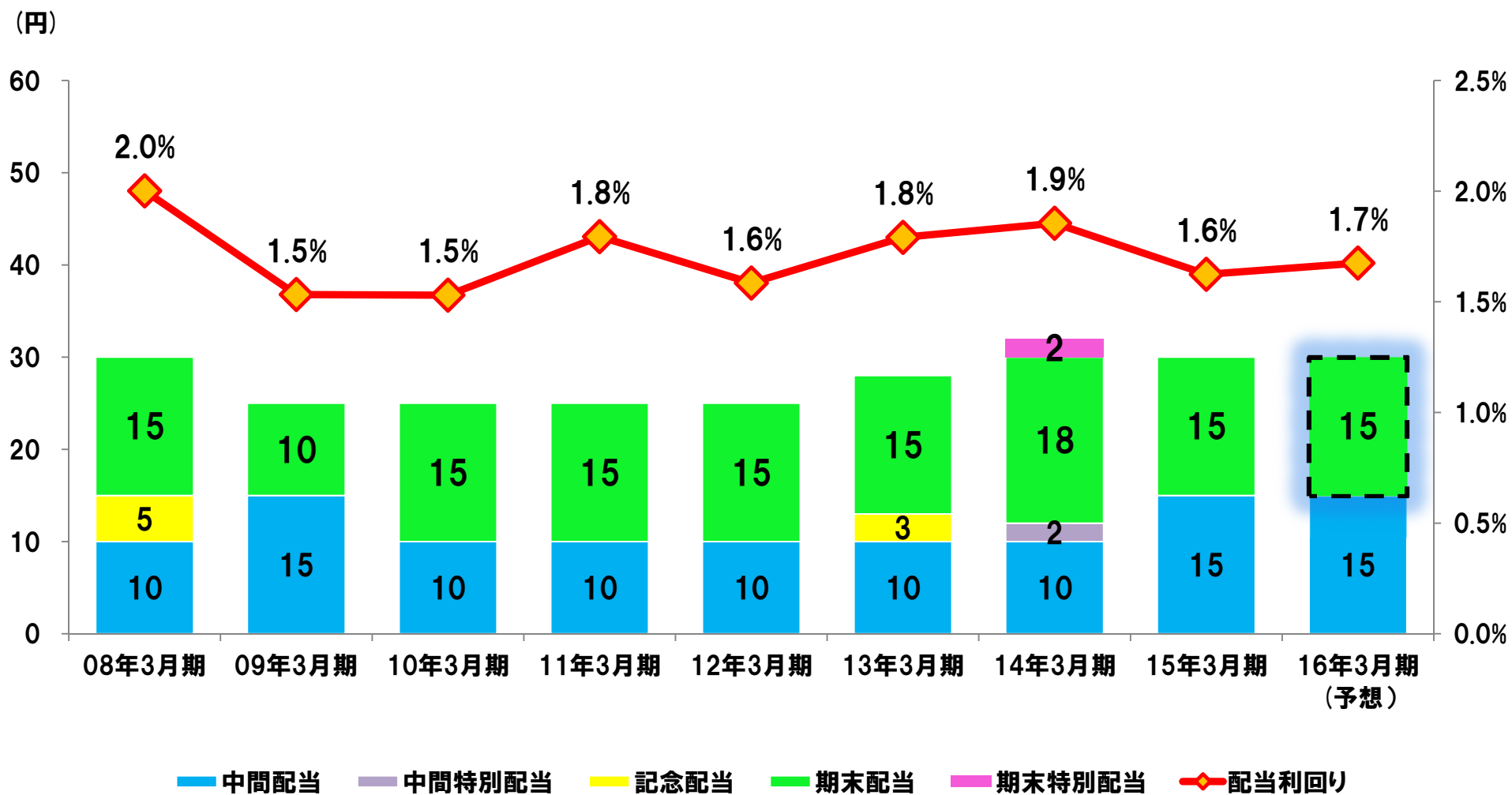


# 生産体制の状況

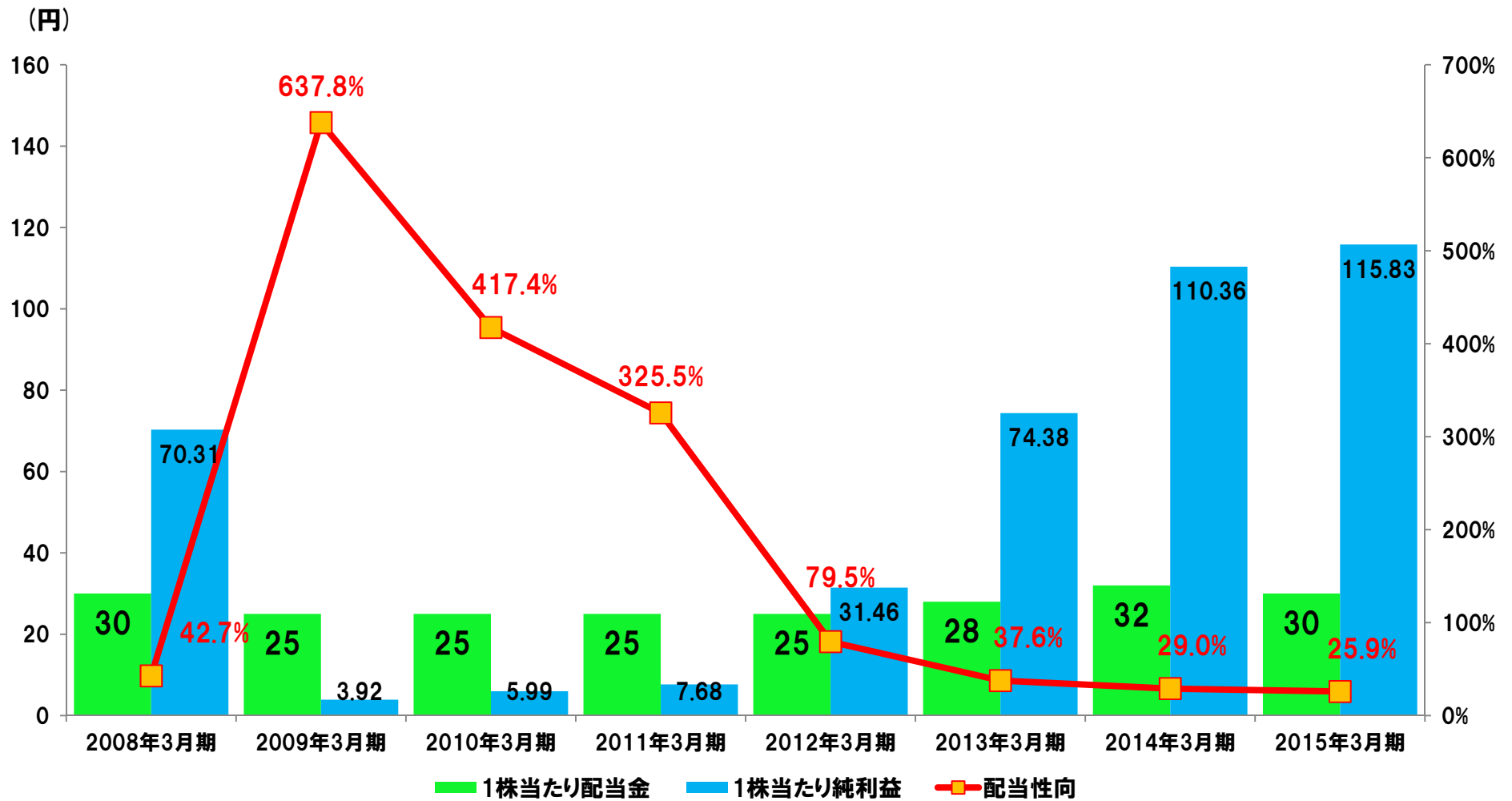
2015年3月期末の海外生産比率(台数)実績は44.0%  
2016年3月期末は50%を目指す



## 配当の推移 (2008年3月期～2016年3月期)

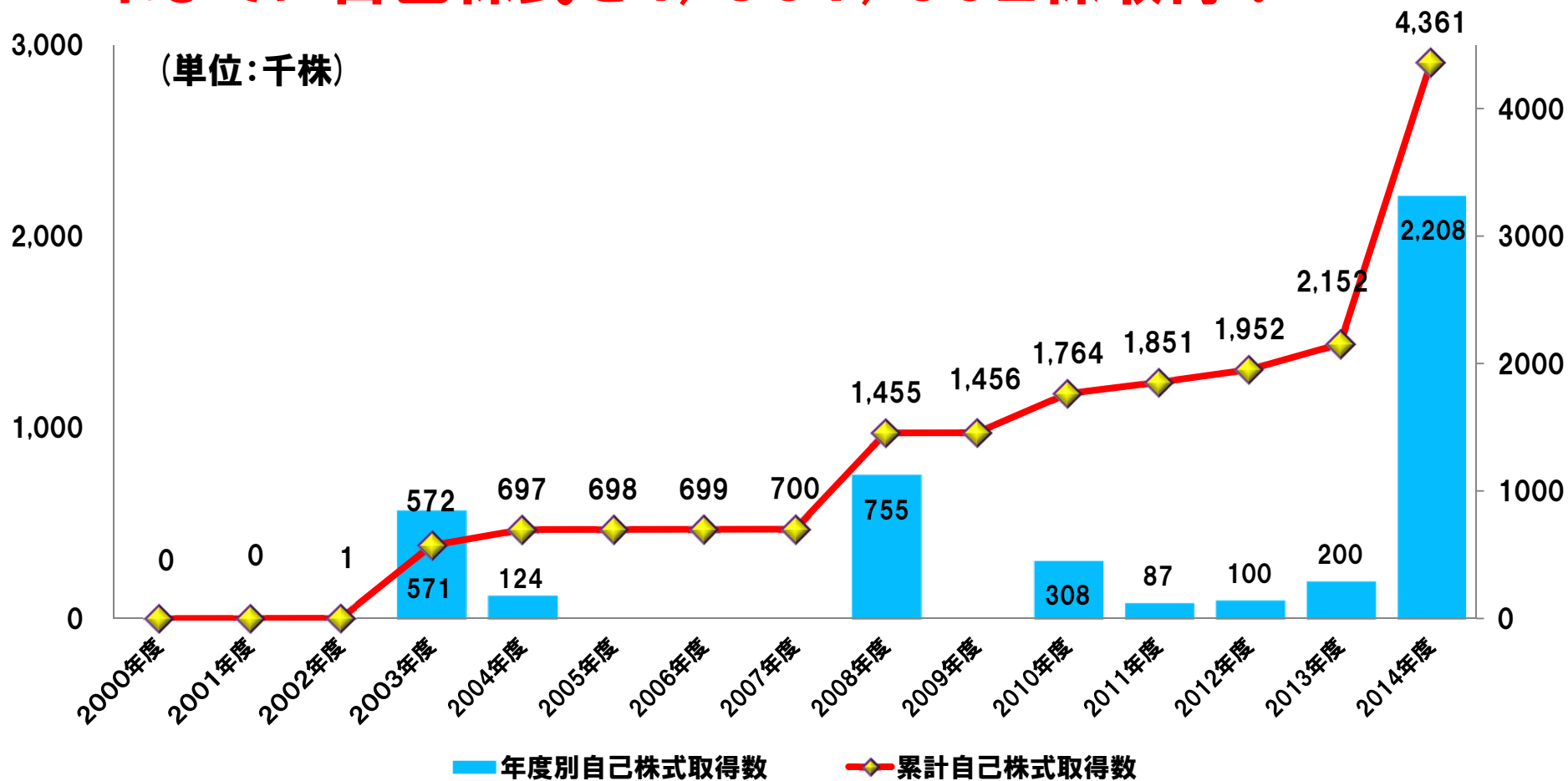


## 配当性向の推移 (2008年3月期～2015年3月期)



## 株主還元(自己株式の取得状況)

これまでに自己株式を4,361,502株取得！



## 自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針について

当社は、この度2015年5月12日開催の取締役会において、「自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針」を決定いたしました。

### 自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針

当社の資本政策及び株主の皆様への利益還元の一環として実施する自己株式の取得に対して、その取得目的及び保有目的を明確にするとともに、その取り扱いについての方針を定めるものとする。

#### 1. 自己株式の取得に係る基本方針

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実現するとともに、経営の重要な政策と位置づけている株主の皆様に対する利益還元の一環として、自己株式の取得を弾力的に行うものとする。

#### 2. 自己株式の保有・消却に係る基本方針

機動的及び戦略的な経営の実現のため、事業投資資金(事業提携・M&A)を確保することを目的とし、保有するものとする。なお、自己株式の保有については、発行済株式総数の10%程度を目安とし、それを超過する部分は原則、毎期末に消却を行うものとする。

## 自己株式の消却について

当社は、「自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針」に基づき、2015年8月10日付にて、自己株式の消却を行いました。

- |                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| 1. 消却した株式の種類   | 当社普通株式                             |
| 2. 消却した株式の数    | 2,454,128 株                        |
|                | (消却前の発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合11.87%) |
| 3. 消却後の発行済株式総数 | 18,220,000株                        |

## 中期経営計画において当社グループが目指す姿

2013年度～2015年度

**「輝け！アイホン ～真の輝きを求めて～」**

中期経営計画の基本方針として、「**利益体質の強化**」を掲げ、以下の重点戦略を推進中です

### 重点戦略

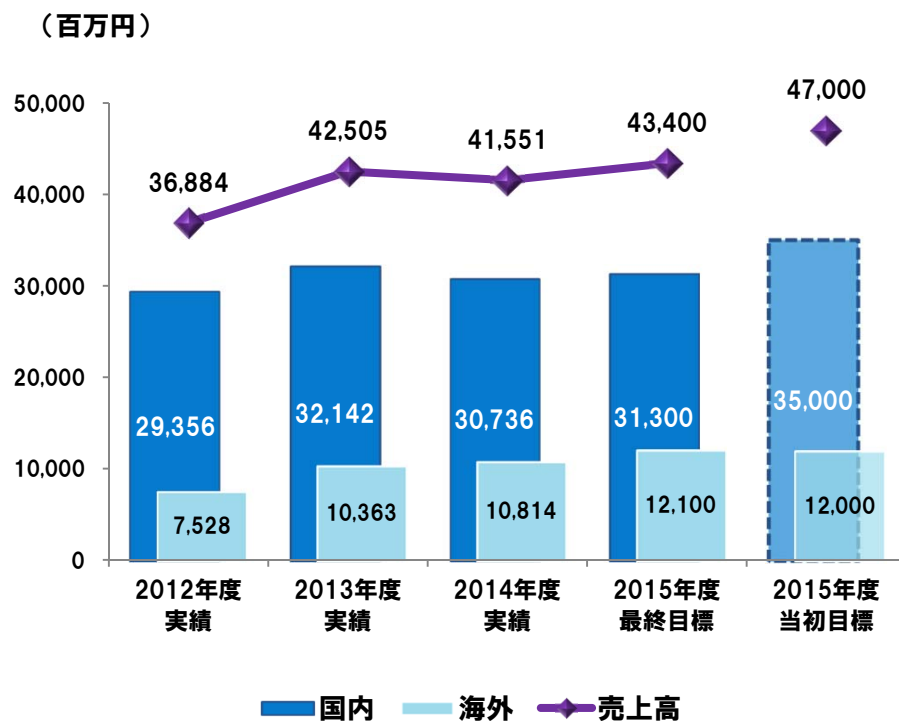
- 1) グローバル化の推進
- 2) ネットワーク対応の市場創造
- 3) コスト競争力の強化
- 4) 生産技術の改革
- 5) 源流管理による品質保証
- 6) 企業体質の強化

当社グループ一丸となって今回の中期経営計画を推進することで、社会やステークホルダーにとって真に輝くアイホンを目指します

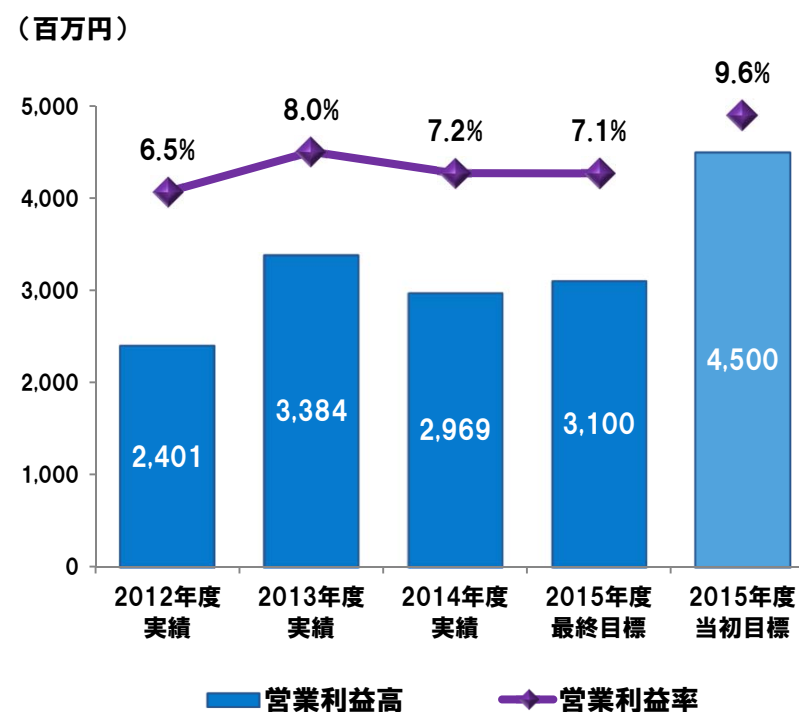
## 中期経営計画目標数値

当社は、2015年3月期の業績結果及び経営環境の変化等を勘案し、2015年5月1日に第5次中期経営計画の修正を公表。

### 売上高目標



### 営業利益目標





Communication  
&  
Security

**アイホン**

弊社ウェブサイト

<http://www.aiphone.co.jp/>

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。